

(8) 日本に帰国した中国残留邦人とその家族

中国残留邦人とは、1945（昭和 20）年当時、中国の東北地方（旧満州地区）に居住していた開拓団等の日本人のうち、第二次世界大戦末期の混乱により、肉親と離別するなどの事情から終戦後も中国にとどまることを余儀なくされた人々で、帰国までに長期間を要したことから、多くの人々が言葉・生活習慣・就労等の面で様々な困難に直面することになりました。

日本に帰国した中国残留邦人とその家族について、正しい認識と理解を進める啓発を行います。